

行政評価（外部評価）結果総括表

＜平成30年度実施計画分＞

令和元年7月

行政評価（外部評価）結果総括表（平成30年度実施計画）

第1節 「集まる」まちをつくる（ひとづくり）

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
川西ブランドづくり (1-5)	概ね順調	<p>個々の施策については、対外的なPRが進んでおり、登録商標の取得、特産品の発掘に努めるなど、一定の成果を得ているが、未指定文化財の対応や町民の参画などに課題が残る。</p> <p>また、川西ブランドの確立に向けて、町内外の人が本町に持つイメージを分析し、具体的な方向性と推進方法を構築するとともに、町内外への地道な情報発信や連携強化を図りながら、本町のイメージに合ったブランド推進を展開されたい。</p>	1. 郷土の誇りづくりの推進	81.3	<p>町内外からの来場者が年々増加している川西夏まつりにおける地域文化の共有、森のマルシェによる町内産品の販売、フレンドリープラザを中心とした各種文化事業等を通し、施策は一定の成果を得ているが、川西ブランドの確立という点では十分とは言えない。今後は、全国発信の機会を逃さず捉えていくとともに、取り組み内容を柔軟に進化させ、郷土の誇りづくりの推進に努力されたい。</p> <p>また、参加者の増減が大きい事業の原因分析や町民の参加促進、地元井上ひさしファンの拡大、産学官の連携強化による商品開発、新たな地域での販路拡大など、取り組みの充実を検討されたい。</p> <p>SNS等による情報発信は、以前より充実してきているが、ターゲットとなる世代に応じ、適切な手法による情報発信を図られたい。</p>
			2. 地域の資源を生かす活動（地域学）の推進	75.0	<p>地域資源の保護、活用については、概ね良好であると評価できるが、町民の認知度や接する機会が十分でないものも見受けられるため、地域の伝統芸能や史跡、文化財等の存在と価値を認識・理解する機会の提供と、町内外に対して広く情報発信していくことが求められる。</p> <p>また、文化財の保護活動に尽力されている団体等の活動周知、未指定文化財の掘り起こしやデータ化等に対応する体制確立を図ることで施策の有効性を高めていただきたい。</p> <p>地域の歴史と文化は、町の礎であり、地域資源を掘り下げる活動が、今後のまちづくりに生きる新たな発見に繋がることを期待したい。</p>

第2節 「楽しい」まちをつくる(ちいきづくり)

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
安全で機能的な交通ネットワークづくり(2-4)	概ね順調	概ね順調に推進されていると評価する。 なお、常に人命最優先の視点で事業の計画・執行に心がけ、生活道路等の補修・整備の推進と町民ニーズを反映した交通ネットワークづくりに努められたい。	1. 幹線道路ネットワークの整備・促進	87.5	整備が進められている新潟山形南部連絡道路及び国道287号は、交通の利便性や災害時の交通を確保するうえで重要な路線であるとともに、本町の発展に大きく寄与することが見込まれるため、町民の期待も大きい事業である。早期完成に向けて、本町独自での国に対する働きかけに加え、置賜一丸となって整備促進活動を展開されていることは、施策が効果的に推進されていると評価する。 一方で県道等の幹線道路ネットワークの迅速な整備促進に向けて、町民の利便性と安全性を重視しつつ、具体的かつ実現性のある提案・要望を行うなど工夫を講じられたい。
			2. 生活道路等整備促進	75.0	生活道路等の整備にあたり、要望を聞き、調査を行い、緊急性や安全性を精査し、限りある予算の中で優先順位を付けながら整備せざるを得ない状況であることについては、一定の理解、評価はできる。 なお、町民の人命を最優先に、側溝や歩道の整備、橋梁の点検整備、大事故につながるような危険個所の改善や通学路における交通安全施設の整備など、事業の優先度を高め、町民ニーズを反映した迅速な対応に努められたい。
			3. 生活公共交通の確保	75.0	通勤や通学、交通手段を持たない高齢者の移動手段として、鉄道やバス、デマンド型乗合交通などの生活公共交通の維持・確保が図られていることは、町民ニーズに合致しており、施策は概ね順調に推進されている。 今後は、デマンド型乗合交通の広域運行や当日予約といった利用者ニーズや利用状況、財政負担等を総合的に判断しつつ、買い物難民対策や有償個人輸送の導入検討なども含め、町民と行政が一体となり、誰もが気軽に利用できる生活公共交通のあり方を検討されたい。

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
安全で安心な暮らしづくり (2-5)	概ね順調	<p>自主防災組織及び消防力の強化に向けた取り組みがなされ、総合的な防災体制の整備は着実に進んでいるものと評価されるが、一層の地域住民の自助・共助を促すため、防災に係る町民のニーズの把握、人材育成や防災教育、啓蒙活動、情報提供等の取り組みの充実に努められたい。また、消防団活動においては、人口減少等の社会情勢により団員数の減少が課題となっており、機能別団員の導入等を含め活動内容の見直しが必要である。</p> <p>その他、悪質商法や詐欺などに対する注意喚起や啓蒙活動に関しても継続し進めていく必要がある。</p>	1. 防災体制の充実	81.3	<p>自主防災組織や消防団の人材育成、消防設備の整備に関しては、地域防災計画をはじめ各種計画に基づき着実に取り組みが進められているが、町民の防災意識の醸成、社会構造や就業構造の変化に伴う消防団員数の減少等が課題となっている。今後は、課題解決に向け、防災メールの重要性の周知、出動時間帯を限定し特定の災害でのみ活動する機能別団員の導入も視野に入れた活動内容の見直し等、一層の防災力向上に向けた対策を講じるとともに、災害時要支援者に関するも、随時調査を行い万全の体制を期すよう努められたい。なお、洪水避難ハザードマップの改訂、土砂災害等危険住宅の移転事業の周知及び危険箇所からの移転誘導対策については、全国的に豪雨災害が多発している昨今、尊い人命を守るためにも早急な検討を進められたい。</p> <p>空家の適正な維持管理による危険空家の増加抑止を図るため、一層の空家バンクの活用を期待したい。</p>
			2. 防犯、交通安全の推進	81.3	<p>交通事故等の減少につながる運転免許証自主返納の取り組みは評価できる。運転免許証自主返納を一層推進するため、運転免許証返納に係る事務手続きの簡素化を図るとともに、代替交通手段の充実に向け、デマンド型乗合交通の充実、新庁舎とメディカルタウン等を結ぶ定期型交通の整備検討に向け関係機関との連携強化に努められたい。</p> <p>また、年少者・高齢者に対する交通安全教室の実施や企業・団体への啓蒙活動等、交通事故件数や負傷者数の減少に繋がる活動の一層の充実に努められたい。</p>

第3節 「挑戦する」まちをつくる（しごとづくり）

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
相互に連携する産業づくり (3-2)	概ね順調	<p>町内企業への支援、雇用対策、観光事業等個々の事業に関しては、補助金やセミナー、特産品イベントの実施等により概ね順調に推進されていると判断するが、各事業において関係団体との連携・情報共有を強化し施策への反映に努め、前例踏襲とならないような工夫が求められる。本町においては、雇用機会の創出が課題でもあることから、若者の雇用の場や年をとっても働ける場の創出に注力していただきたい。</p> <p>また、本町特産品や観光資源のブランド化に向け素材のブラッシュアップを行い、それら資源を活用した販売力・集客力の強化による地域活性化に向けた取り組みの推進に努められたい。</p> <p>但し、総じて本町の産業振興策に関しては、総花的な感じが否めない。今後は、町の将来像を見据えながら、農業、商業、工業、観光業何れの分野を核として政策を進めていくか方向性を示し、事業の効果を徹底的に検証した上でメリハリのある施策を展開していく必要がある。</p>	1. 産業間ネットワークの促進	75.0	<p>産業フェアにおける企業展については、異業種間の情報交流や企業情報のPRの場として一定の評価ができるが、更に商工団体等との連携を密にし雇用へとつながるイベントとなるよう努められたい。また、町外事業所とのビジネスマッチングも有効な連携の手法であることから、商談会の開催等も視野に入れた事業展開が望まれる。</p> <p>森のマルシェについては、地域における役割をより明確にし、町内産品や農産物をはじめ町の総合的な情報発信の拠点としての機能を充実させ、一層の有効活用を図られたい。</p>
			2. 賑わいのある商業の振興	75.0	<p>過疎化・高齢化に伴い中心市街地の空洞化が進んでおり、現役場庁舎の移転に伴い、今後その傾向は一層加速するものと考えられることから、事業者や関係機関との連携を密にし、販売促進や誘客対策等に係る事業者ニーズの積極的な把握と情報共有を進め、より効果的な商業の振興策を検討されたい。</p> <p>また、本町は他自治体に比較し観光資源が乏しいと思われるが、たまげたほこ天をはじめ各種イベントの実施により町の賑わいづくりに一定の成果が見られる。今後は、貴重な観光資源であるダリヤ園周辺の環境整備（松枯れ対策等）を図るとともに、フェイスブック等の情報媒体を有効に活用し、各種イベント等に関するよりきめ細やかな情報発信に努め一層の交流人口の拡大を図られたい。</p>
			3. ものづくりを育む工業の振興	81.3	<p>高齢者の生きがいづくりや経済支援の観点からシルバー人材センターへの支援は評価できるが、町内事業所に係る総合的な雇用拡大につながる一層の支援対策が求められる。継続的な企業訪問を実施し、経営状況や町政へのニーズの把握・分析を行い施策に反映させ、効果的な企業支援の展開を図られたい。</p>

主要プロジェクト

主要プロジェクト名	評価点数	評価の理由
1. 地域経済活性化プロジェクト	75.0	<p>プロジェクトを構成する事務事業、方向性は概ね適当であり、農・商・工業の振興について、具体的かつ様々な支援や取り組みが展開されている。特に、創業支援に関しては、相談5件のうち4件が創業に繋がるなど成果に結びついており、高く評価できる。</p> <p>一方、企業誘致や置賜農業高校との連携、総合的なエネルギー対策については、十分な成果に繋がっていないと感じられる。</p> <p>企業誘致については、成果がなかなか出にくい取り組みであるが、PRや手法を工夫するとともに、今後のメディカルタウンへの企業誘致に期待したい。</p> <p>置賜農業高校との連携については、斬新な感覚を持つ高校生による農産加工品等の開発を支援し、川西ブランドとしての販売に結びつけることで、起業や地元定着に繋がる可能性もあるため、支援の充実を図られたい。</p> <p>エネルギー対策については、再生可能エネルギーの重要性が今後も増していくと考えられるため、町民の理解を得ながら、具体的な取り組みを検討されたい。</p> <p>また、農業の担い手確保を図るため、就農希望者へ向けた支援策の周知を充実させるとともに、紅大豆、ダリヤ、各地区で作られている一次産品や加工食品、重点推進作物等を活用し、単独ではアピール力が弱いものでも組み合わせや新たな加工品の開発等により、町内産品の魅力と所得の向上を図っていくことが望まれる。</p> <p>本プロジェクトの推進により、地域経済の活性化を図り、本町の人口減少に少しでも歯止めをかけるため着実な成果を期待したい。</p>
2. 移住・定住促進プロジェクト	75.0	<p>プロジェクトを構成する事務事業については評価できる。Iターン、Uターン、Jターン等様々な形態があるが、いずれにおいても移住・定住を推進するためには、移住希望者のニーズの把握と呼び水となる優遇措置、住みやすい環境づくりが重要である。移住・定住の基盤となる住宅整備等に係る補助対象範囲や補助内容の拡充、住宅支援事業と連携した空家の随時把握と有効活用、メディカルタウンの整備、安全で便利な生活確保に向けた冬期交通体制の整備や除排雪対策の充実等、移住希望者に住みたいと思われるまちづくりの推進に期待したい。一方、住民の町外への流出をいかに食い止めるかも重要な課題である。人口流出に歯止めをかけるには雇用の創出が重要であるが成果が見えにくいいため、目に見えてわかるような雇用の場の創出や賑わいづくり等に期待したい。</p> <p>また、移住・定住の推進においては、本町の魅力を活かしたまちづくりが必要不可欠であり、そのための人材育成は重要な課題である。まちづくりを担う人材の発掘・養成を図るとともに、まちづくりマイスターの地域づくりへの積極的な参画を促すきっかけづくりが求められる。</p>

3. 生涯現役プロジェクト	81.3	<p>食育や心身の健康づくり、健診等を通じた健康寿命の延伸や包括的支援事業、フレンドリーブラザ及びあいばるを活用した学びの機会の提供や芸術文化の振興等、プロジェクトを推進するための事業が網羅されている。補助金や各種支援、各年代層に応じた工夫もされており、プロジェクトは順調に推進されていると評価する。</p> <p>なお、プロジェクトの有効性を高めるため、各種相談窓口や認知症サポーター等の人材育成を継続するとともに、検診受診率の向上を図る更なる工夫や医療機関との検査結果の共有、スポーツに親しみやすい環境づくり、必要に応じて介護や福祉、保健、医療の資格を持ちながらも就労されていない方に活躍していただく場の創出について検討されたい。</p> <p>また、誰もが学びやすい環境づくりとして、開催日時の工夫や交通手段を持たない町民でも参加できる手法の検討、多様な展示企画を期待したい。</p>
4. 女性にやさしいまちづくりプロジェクト	75.0	<p>子育て医療や病児保育等の取り組みにより、安心して子育てができる環境整備については、一定の評価ができる。女性の活躍を推進するには、安心して子育てができる環境づくりが必須条件であることから、現在取り組んでいる各事業については、利便性及び柔軟性の向上を図りつつ継続していただきたい。一方で、女性の活躍を推進するためには、子育て環境の整備だけでなく介護問題、就業形態、性的役割意識等様々な課題を総合的に判断し対応していく必要があることから、関係各課が連携し課題解決に向け取り組みを進められたい。</p> <p>虐待やDVに関しては、今や特別なことではなく誰にでも起こりうる身近な問題となりつつあるが、町民の関心や問題意識は決して高いとは言えない状況である。虐待やDVの早期発見や未然防止に向けた意識啓発を推進するとともに、関係機関との連携強化による情報の共有化と相談窓口の明確化が求められる。</p>

「川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における数値目標及び重要業績評価指数（KPI）の進捗状況

プロジェクト名	評価結果	評価の理由
1. 地域経済活性化プロジェクト	やや課題あり	<p>数値目標の達成に向けて全般的に増加・上昇傾向であることが伺える。特に観光者数については、森のマルシェの効果で大幅な増加となっており評価できる。</p> <p>一方、ダリヤ園入園者数の減少については、天候や生育状況に影響されるところが大きいものの、対策を検討されたい。また、目標達成が難しいと思われる認定新規就農者確保や企業誘致については、手法の工夫が必要である。</p>
2. 移住・定住促進プロジェクト	概ね順調	<p>地域おこし協力隊の任期終了後における定住者、ふるさとづくり寄附金に関しては増加傾向にあり評価できるが、その他の指標については数値が横ばいである。事業の精査・取捨選択を行い、事業の見直しも含めより効果的な事業展開を図られたい。</p>
3. 女性が活躍するまちづくりプロジェクト	概ね順調	<p>ファミリーサポートセンターや子育て支援センターの利用者数等は順調に推移しており、女性が安心して暮らせる地域づくりの一助となっていることが伺える。一方、審議会・委員会等への女性の登用率、子育て応援企業数は伸び悩んでいる状況にある。</p> <p>一層の女性の活躍のためには、仕事と家庭の両立が必要不可欠であるが、阻害要因となっている性別役割分担意識やこれに基づく社会的慣行は依然として存在しており、これらの課題解決に向け、今後も継続的に国・県と歩調を合わせながらも、町として率先した取り組みを進められたい。</p>
4. 生涯現役プロジェクト	概ね順調	<p>全国学力・学習状況調査結果や中学3年生の英検3級合格率が低いのは残念であるものの、目標を達成した指標や順調に推移している指標が多く、概ね順調であると評価する。</p>